



平成 21 年 8 月 28 日

各 位

会 社 名 ピ ジ ョ ン 株 式 会 社
 代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長
 大 越 昭 夫
 (コード番号:7956 東証第1部)
 問 合 せ 先 執 行 役 員 経 営 企 画 本 部 長
 高 坂 功
 03-3661-4188(直 通)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向等を踏まえ、平成 21 年 3 月 6 日の決算発表時に公表した平成 22 年 1 月期業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

1. 連結業績予想の修正

(1) 平成 22 年 1 月期第 2 四半期連結累計期間(平成 21 年 2 月 1 日～平成 21 年 7 月 31 日)
 (単位:百万円、%)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益	1 株 あ た り 当 期 純 利 益
前 回 発 表 予 想(A)	26,700	1,650	1,600	1,000	49 円 96 銭
今 回 修 正 予 想(B)	26,250	2,150	2,180	1,300	64 円 94 銭
増 減 額(B-A)	△450	500	580	300	—
増 減 率 %	△1.7	30.3	36.3	30.0	—
(ご参考) 前 年 同 期 実 績 (平成 21 年 1 月 期 中 間)	26,662	2,118	2,104	1,363	68 円 23 銭

(2) 平成 22 年 1 月 期 通 期 (平成 21 年 2 月 1 日～平成 22 年 1 月 31 日)

(単位:百万円、%)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当 期 純 利 益	1 株 あ た り 当 期 純 利 益
前 回 発 表 予 想(A)	56,000	4,400	4,350	3,000	149 円 88 銭
今 回 修 正 予 想(B)	56,000	4,700	4,700	3,000	149 円 88 銭
増 減 額(B-A)	—	300	350	—	—
増 減 率 %	—	6.8	8.0	—	—
(ご参考) 前 期 実 績 (平成 21 年 1 月 期)	53,092	4,269	4,293	2,854	142 円 75 銭

2. 個別業績予想の修正

(1) 平成22年1月期第2四半期個別累計期間(平成21年2月1日～平成21年7月31日)

(単位:百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株あたり 当期純利益
前回発表予想(A)	16,390	260	950	800	39円96銭
今回修正予想(B)	16,210	420	1,160	720	35円97銭
増減額(B-A)	△180	160	210	△80	—
増減率	△1.1	61.5	22.1	△10.0	—
(ご参考) 前期中間実績 (平成21年1月期中間)	16,015	399	1,100	919	46円02銭

(2) 平成22年1月期個別通期(平成21年2月1日～平成22年1月31日)

(単位:百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株あたり 当期純利益
前回発表予想(A)	33,100	630	1,650	1,400	69円94銭
今回修正予想(B)	33,100	780	1,850	1,200	59円95銭
増減額(B-A)	—	150	200	△200	—
増減率	—	23.8	12.1	△14.3	—
(ご参考) 前期実績 (平成21年1月期)	31,439	525	1,307	949	47円49銭

3. 修正の理由

上昇を続けておりました原材料価格において、価格低減、内製化の推進等により、原価率の改善が期初想定を上回って進捗していること、また、一部の販売費及び一般管理費において、売上高の状況、実行時期の下期先送り等により、発生が計画を下回る見込みであること、さらに、為替レートが期初の想定よりも円安で推移したこと等が主たる要因であります。

個別業績の当期純利益予想の修正に関しましては、本年3月31日に発表いたしました取引先の民事再生法適用申請に関連し、特別損失等の計上を行ったことが主な要因となっております。

尚、通期業績予想に関しましては、期初予想売上高の達成を想定しておりますが、為替変動につきましては現時点での把握が難しい状況であるため、中間期までの業績を踏まえての修正となります。

※ 上記の予想数値は、発表日時時点で入手可能な情報に基づき作成しております。そのため、今後の様々な要因により、実際の業績は予想数値と異なる場合があります。

以 上